

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			簡易点検
事務事業名	成人歯科検診事業	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局	健康 部	健康医療推進 課	評価責任者(課長名)	河盛

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 8 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	健康増進法 歯科口腔保健の推進に関する法律			
	4	関連計画	堺市歯科口腔保健推進計画、堺市健康増進計画			
5	事業実施の経緯	平成8年に生活習慣病という概念が導入され、健康的な生活習慣を確立することにより疾病を予防する一次予防の考え方が重視されるようになった。市民の重要な健康課題である生活習慣病の歯周病予防対策として、歯周病に関する検診の機会を提供するために事業が開始された。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	満30歳・35歳・40歳・50歳・60歳・70歳、71歳・72歳・73歳・74歳の堺市民と堺市民で75歳以上の生活保護受給者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	生活習慣の改善への意識を高め、市民主体の健康づくりの実践へ結びつけることにより、市民がいつまでも食べることを楽しめるよう、生涯にわたる口腔の健康を維持することを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	疾患の早期発見により、歯科治療における市民の負担を軽減し、また、歯みがき指導を同時に受けることにより、歯周病を予防し、生涯にわたる口腔の健康を維持する。そのために、歯周病に関する検診の機会を提供し、かかりつけ歯科医での定期的な受診につなげる。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 一般社団法人堺市歯科医師会、一般社団法人狭山美原歯科医師会				

Ⅲ. 投入量

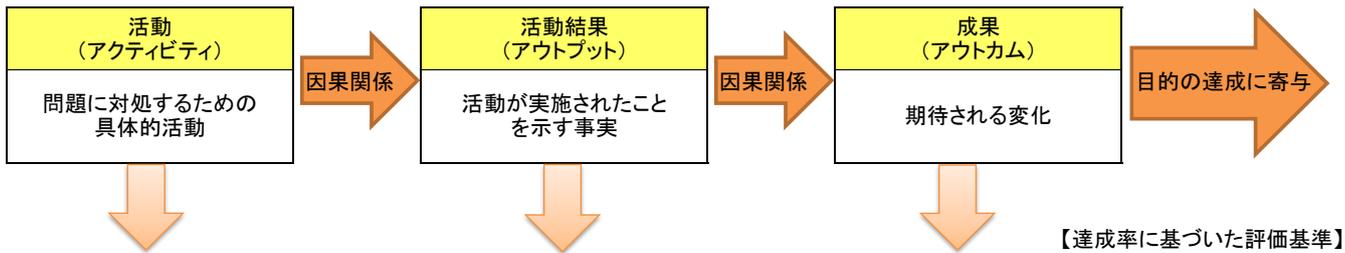
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	3,261	3,482	4,106	6,157	
	主な事業費内訳	委託料	千円	2,944	3,310	3,554	5,860
		その他	千円	429	172	552	297
	財源内訳	国・府支出金	千円	1,155	623	420	562
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円	2,106	2,859	3,686	5,595
	12 人件費 (b)	千円	1,480	1,500	1,500	2,510	
	13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	4,741	4,982	5,606	8,667	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	成人歯科検診事業	シート番号	11-180
-------	----------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	<p>様々な機会を通じて成人歯科検診のチラシの配布や、他事業のパンフレットに案内を入れるなどにより周知を行った。また、保健センターの成人向けの健康教育ではこの事業の啓発を行った。その結果、受診者が増加し、継続的に治療や検診を受ける機会の提供につながったと考える。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		受診者数	人	目標値	694	768	774	997
				実績値	526	590	637	
				達成率	76%	77%	82%	
				評価	少し悪い	少し悪い	普通	
	算出方法・設定根拠など		目標値: 対象年齢別人口に対する実績値割合(直近3年間で最も高い実績値を採用)で算定 実績値: 成人歯科検診受診者数					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		受診勧奨チラシ配布数	枚	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000
				実績値	2,000	2,000	2,000	
達成率				100%	100%	100%		
評価				良い	良い	良い		
算出方法・設定根拠など		ちらしの作成部数及び配布数で算出						

業績の分析

	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
17	<p>かかりつけ歯科医をもつ者が73.1%(平成29年度堺市健康づくりに関するアンケート調査結果から)であることもあり、受診者数が伸び悩んでいたが、平成30年度は若干受診者数が増加した。さらに向上させるため効果的な受診勧奨が今後も必要と考える。</p> <p>健康さかい21評価報告書から「進行した歯周炎がある者の割合」は40歳代、60歳代で平成24年度と平成29年度を比較すると改善されている一方で、堺市の高齢者数は、2017年9月末時点で23万人を超え、高齢化率27.4%で上昇を続けている。そこで、2019年4月からオーラルフレイル予防の視点から71歳から74歳までの市民及び75歳以上の生活保護受給者を対象に口腔機能チェックを含んだ検診を行うこととした。制度改正の周知を含め、受診勧奨をあらゆる媒体を活用して取り組んでいく。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。